

破天荒

教宣部

5084号

2020年
4月16日

化学一般京滋地本
全竹中労働組合



2020年 春闘 春闘集約臨時 大会中止

一向に収まらない新型コロナウイルス、3つの「密」(密閉空間・密集場所・密接場面)を避けるため春闘集約臨時大会を中止しました。

春闘総括

【会社側】

二〇〇一年当時より同年代の従業員で見れば社会保険料・消費税等により負担が増えていることは間違いないし生活水準は下がっているかもしれないが、竹中の賃金体系が世間と比較しよほど乖離し劣ったものなら業績が厳しくても見直しをする必要があると考えるが、各種資料や人材紹介から応募いただいた方の声を聴く限りでは弊社の賃金水

準は十分に満足いただけていると考えている。
本年度も雇用確保を最優先に考え定期昇給のみの実施とします。依然として企業を取り巻く状況は厳しい。現状を十分にご理解いただき、協力していただければ幸いです。

【組合側】

会社は賃上げすることを全く考えていないこと。そのため賃上げ「〇」の理由や主張が年と共に変わっていくこと。(現状を守っていくことが大切。賃金カーブ改善は検討の余地もない。)



お知らせ
第91回メーデー
中止

賃上げの参考とするデータやモデル賃金の見方が前向きでなく、賃上げ「〇」とするために世間の賃金水準をみていること。三〇〇人以下中小企業の中では十分な賃金水準で従業員も満足

していると発言した。

業績や今後の経営政策の質問には詳しく答えられないこと。

従業員にやる気を持たせることより、とりあえずトップの考え方を重視という方針が伝わってくる。

最低賃金については、積

極的に引き上げて貢献しようとする社会的な責任感がないこと。

物価や従業員の生活は考慮する材料にないとし、会社の業績が複数年安定して良くないと賃上げは検討できないと言いつつ、具体的な年月や目標数値など長期的な計画を示さないこと。

団交のやり方は、「一発回答方式」回答や主張点は「会長」のやり方という対応を

続けていること。

「交渉で解決を図る」「労使の合意を形成させる」という交渉を拒否し、「会社の回答を組合が受け入れる以外解決の方法はない」とする対応を取り続けたこと。交渉で歩み寄る。相手を説得していくという努力すらしていないこと。

雇用延長制度について、会社が提示したものは一切変更できないとしたこと。

天声竹語

まさか今更、そんなことを会議で集まってなんて議論しないでくださいよ。

社会規範に準ずる企業として有効視される対策を講じている姿勢が対外的に必要な時期なのに社内会議の中止がやっとならざる弊社(一部ではまだ集まって定例会議してませんが)。

中途半端な時差出勤も営業部門だけ弊社百年先でもテレワークとは無縁だわ。

毎日毎日、情報は必要だ

けど、肝心な事が一向に進まない弊社。会議・打合せ、またその準備の度にストレスがたまる。色んなことを判断出来ない無能さ、その判断の権限を持つ者が判断から逃げまくり、竹中電子の過去を否定し続けた結果が今の弊社内。
しかしながら、こんな状況でも、給与も賞与も普通になるだろうと思っただけから、切迫感がない。10年先、いや5年先もこの水準で居られるのか。